

建設予定地周辺の行政区説明会での主な質問と回答

施設の安全性

問 ダイオキシシン類など、有害物質による大気汚染の心配はないか。

答 現在では技術の進歩により、どの燃焼方式でも確実に有害物質の発生を抑えられることが証明されています。また、ダイオキシシン類などの有害物質を分解・吸着する薬品や除去装置（バグフィルター）の性能向上により、安全性は飛躍的に向上しています。全国でも同様の施設が稼働しており、住宅街や田んぼ、果樹園の近くで稼働している施設もあります。

交通量の増加

問 現在2か所ある施設を1か所にする事で、搬入車両は増加するのか。

答 現在稼働中の2施設の搬入台数は、直接搬入も加えると、1日平均で約718台です。新しい施設への搬入台数は、1日平均で約990台と推計され、今より若干増加すると予想しています。（午前9時～午後5時の稼働時間で、搬入台数が1日990台とすると、1時間に141台、1分間に2～3台程度の車両が施設に搬入すると予測される）



風評被害

問 風評被害に対して市はどのように責任を取り、補償をするのか。

答 農産物に対する風評被害について全国各地の状況を調査しましたが、事例はありませんでした。風評被害対策は、客観的な数値で安全性を証明することと、誹謗中傷などの行為に厳正に対処する姿勢を示すことが必要であると考えます。一方で、市が管理する施設が原因で被害が発生した場合は、市の管理責任において補償を行うことが基本であると考えます。

先進施設の視察 パート3 上越市クリーンセンター〔新潟県上越市〕

平成29年に供用を開始した上越市クリーンセンターは、①安心安全な施設、②環境保全に限りなく配慮した施設、③エネルギーと資源の回収に優れた施設、④周辺環境に調和した施設、⑤経済性に優れた施設の5つをテーマに、循環型社会を形成する拠点施設として整備されました。

最新の焼却設備を備えた施設内には、「環境問題や循環型社会」を学習できる見学設備を備えています。焼却時に発生する廃熱を利用して発電を行い、それを売電することで熱エネルギーを有効活用するとともに、場外の温浴施設の熱源としても活用しています。



終わりに

これまで4回にわたってお送りした新ごみつうしんでは、2市1町のごみの現状やごみ処理施設の状況、新ごみ処理施設整備の必要性や経過などについて紹介しました。私たちの生活に欠かすことのできないごみ処理施設について、市民のみなさんからも、ご自身のこととして関心を寄せていただけるよう、これからもさまざまな情報を発信していきます。新ごみ処理施設の整備やごみの減量化は、すべての市民生活や事業活動と密接に係わる重要な課題です。これからも安心な地域が続くよう2市1町で協力して進めていきますので、市民のみなさんからもご理解とご協力をお願いします。

南魚沼市長 林 茂男

新しい施設の整備やごみの減量化などは、生活に関わる重要な問題なんじゃ。将来の南魚沼市のためにも、一人ひとりが課題の解決に向けて関心を持ち、取り組む必要があるのう。



お詫びと訂正 新ごみつうしん南魚沼No. 2（市報10月1日号3ページ）の「環境衛生センターのエネルギー利用」の説明文で、1日の発電量を「21,600kw/h」と表記しましたが、正しくは「21,600kwh」の誤りでした。お詫びして訂正します。【問合せ】新ごみ処理施設整備室 ☎782-0263